様式54

特定供給設備の技術上の基準に関する説明書

（バルク供給を除く）

|  |  |
| --- | --- |
| 特定供給設備所在地 |  |
| 貯蔵能力 |  　　 kg |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項 目 | 条 項 | 対応事項 |
| 保安距離 |  規則53条１号 イ２号 イ |  | 法　　定 | 実　　際 | 緩和の必要性 |
| 第１種 | ｍ | ｍ | 有 無 |
| 第２種 | ｍ |  ｍ |
| 保安距離緩和 | １号 ロ２号 ロ |  障　壁 □ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ □ 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ 　　　 □ その他（ 　 ） 図面添付 □ 地盤面下に埋設 |
| 火 気 | １号 ハ２号 ホ | 火気との距離 ｍ　隔壁 | □ 無□ 有　　 ※ 図面添付 |
| 滞留防止措置 | １号 ニ | 換気口 | 必要面積( 　 )㎡ ※ 図面添付実際面積( 　　 )㎡ ( 　　 )％ |
| さく・へい等 | １号 ホ２号 ト | 構　造 | □ ボンベ小屋 　　　 □ フェンス□ その他（ 　　 ） ※ 図面添付 |
| 警戒標 | １号 へ |  □ ＬＰガス特定供給設備□ 燃 　　　□ 火気厳禁 □ 販売所の名称 |
| 防消火設備 | １号 ト２号 ム |  消火器 （Ａ－ Ｂ－ ） 本 □ 散水設備 　　 ※ 図面添付 |
| 屋根又は遮へい板 | １号 チ | 材料（ 　 　　 ）　 ※ 図面添付 |
| 転落転倒防止 | １号 リ |  方法（ 　　　 ） |
| 容器腐しょく防止 | １号 ヌ |  □ 排水の良い場所に設置 |
| 保安物件の密集 | ２号 ハ |  □ 貯槽を地盤面下に埋設。 |
| 貯槽地下埋設 | ２号 ニ |  □ 貯槽室　 □ 乾燥砂 　□ 水没 　□ 強制換気 □ その他（ 　 ） □ 貯槽の頂部は30㎝以上地盤面から下にあること。 □ 貯槽間距離（ 　　 ｍ） |
| 貯槽間距離 | ２号 ヘ |  | 法　　定 | 実　　際 | 緩和の必要性 |
| 距離 |  ｍ |  ｍ | 有　 無 |
|  □ 水噴霧装置 |
| 表　　　　　　示 | ２号 チ |  □ 液化石油ガスである旨の表示。 |
| 使用材料 | ２号 リ |  □ 使用材料は適正なものであること。 |
| 腐しょく・割れ等 | ２号 ヌ |  □ 貯槽には使用上支障のある腐しょく、割れ等がないこと。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 腐しょく防止措置 | ２号 ル |  腐しょく防止の方法（　　 ） |
| 不同沈下の防止 | ２号 ヲ |  □ 貯槽の基礎は、不同沈下等により有害なひずみが生じないものであること。 □ 同一の基礎に緊結。 |
| 耐圧・気密 | ２号 ワ |  □ 貯槽は、常用の圧力の 1.5倍以上の圧力で行う耐圧試験及び常用の圧力以上の圧力で行う気密試験に合格するものであること。 |
| 肉 厚 | ２号 カ |  □ 貯槽は、常用の圧力の２倍以上の圧力で降伏を起こさないような肉厚を有するものであること｡ |
| 圧力計・安全弁 | ２号 ヨ | □ 圧力計・安全弁の設置 |
| 放出管開口部 | ２号 タ |  □ 周囲に着火源等のない安全な位置であること｡ □ 地盤面から（ ）ｍ □ 貯槽の頂部から（ ）ｍ |
| 液面計 | ２号 レ |  液面計の種類（ ） □ 破損防止措置 □ 自動式及び手動式の止め弁の設置 |
| バルブ | ２号 ソ |  □ ２以上のバルブを設け、一は貯槽の直近に設けること。 |
| 緊急遮断装置 | ２号 ツ |  操作場所（ ）距離 ｍ |
| 冷却用散水装置 | ２号 ネ |  □ 冷却用散水装置の設置 操作位置距離 ｍ ※図面計算書添付 |
| 漏えい検知警報器 | ２号 ナ |  検知箇所 箇所 　※図面添付 |
| 静電気の防止 | ２号 ラ |  □ 貯槽には、静電気を除去する措置を講ずること。 |
| バルブ操作 | ２号 ウ |  □ 開閉方向の明示 □ 開閉状況の明示 □ 流体方向の明示 |
| 耐震設計 | ２号 ヰ |  □ 耐震設計の基準により、地震の影響に対して安全な構造とすること。 |
| 自動切替装置 | ３号 |  □ 自動切替調整器 □ その他（ ） |
| 発生能力等 | 18条４号 |  □ 貯蔵設備は最大使用数量に対応するものであること。 □ 気化装置及び調整器は最大消費数量に対応できる能力があること。（規格は別表） |
| 腐しょく・割れ等 | ５号 |  □ バルプ、集合装置、供給管、ガス栓は、使用上支障のある腐しょく・割れ等がないものであること。 |
| 腐しょく防止措置 | ６号 | 名　称 | 使用材料 | 腐しょく防止の方法 |
| バルブ |  |  |
| 集合管 |  |  |
| 供給管 |  |  |
| 継手類 |  |  |
| 使用材料 | ７号 |  前表のとおり |
| 耐圧性能 | 高圧側 | ８号 イ |  □ 2.6MPa以上であるもの |
| 中圧側 | ８号ロハ |  □ 0.8MPa以上であるもの |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  　引張り強さ | ８号 ニ | □ １ＫＮ以上であるもの |
|  　集合装置等の修理 |  8号の2 |  イ ロ ハ |  □ 漏えい防止措置を講ずること。 □ 漏えいしていないことを確認すること。 □ 修理終了後、漏えい確認をすること。 |
|  漏えい試験 |  10号 |  □ 漏えい試験に合格するもの |
|  気化装置 |  19号 |  イ |  □ 腐しょく、割れ等がないもの | ※図面別添 |
|  ロ |  □ 2.6MPaの耐圧試験に合格するもの |
|  ハ |  □ 加熱方式（ ） |
|  ニ |  □ 液状のガス流出防止措置のあるもの |
|  ホ |  □ 凍結防止措置のあるもの |
|  調整器 （２次側 有 ・ 無 ） | 20号 |  イ |  □ 腐しょく、割れ等がなく使用する液器石油ガスの規格に適合したものであること。 |
|  ロ |  使用箇所 |  耐圧試験圧力 |  気密試験圧力 |
| １次側 | □ 2.6MPa | □ 1.56MPa |
| 　　　 |  |  | ２次側 | □ 0.8MPa | □ 0.15MPa |  |
|  ハ | □ 調整圧力　　　　　　KPa ～ 　　　KPa□ 閉そく圧力　　　　　KPa |
|  緊急遮断装置 |  21号 |  |

|  |  |
| --- | --- |
|  設備の種類 |  |
| 貯蔵設備 | 容 器 |  設置数量 （ 　）Kg容器 × （ ）本 （ 　）Kg容器 × （ ）本 |
| 貯 槽 |  公称貯蔵量（ ）ﾄﾝ 設計圧力（ ）MPa 内容積　　（ ）ｍ３ 製造番号（ ） ※図面添付 |
|  　気化器 |  型式（ ） 処理能力（ ）Kg／H 製造番号（ ） 製造年月（ ）年（ ）月 |
| 調整器 | 区分 | １次側 | ２次側 |
| 型式 |  |  |
| 処理能力 |  Kg／H |  Kg／HＨ |
| 製造年月 |  年 月 |  年 月 |

（記載要領）

 １．該当しない欄は抹消すること。

 ２．対応事項は、必要によって別紙に説明書を添付すること。

 ３．該当する□には✔を付し、（ ）には数値又は説明を記入すること。